

理学部 化学科

木村 満映

私は今回ハンガリー研修に参加し、ブタペスト商科大学の学生と10日間の交流を通じて、文化の違い、価値観の違い、考え方の違いなど様々な違いを学ぶことができた。この10日間の経験は私の貴重な財産となり、私自身の成長に大きくつながった。この報告書では、自分が現地で肌で感じた事、学んだ事について話していく。

ブタペスト商科大学の学生たちは本当に優しく、毎日のように私たちの送り迎えをしてくれた。特に、飛行機の中で喉が乾燥してしまい、声が出ない私に色々な人たちが心配をしてくれ、喉に良い飴をくれた。中でもとある学生は、わざわざ私のために飴を二袋も買ってくれて、現地の学生のやさしさに触れることができた。それだけではなく、2023年度に城西大学へ交換留学生として来ていたハンガリー学生が企画してくれた様々なプログラムの多さには頭が上がらない。他にも、英語で分からない単語があると親切に単語の意味を説明してくれたり、まだ一年生で日本語を勉強し始めたばかりにもかかわらず、日本語で言い換えてくれたりなど、彼らの行動の1つ1つに優しさがにじみ出ていた。現地ではたくさんの人と関わり、友達になる事が出来るととても嬉しく思う。特に、日本語と英語でハンガリーと日本の違いや、共通点を話すことはとても楽しかった。

ハンガリーと日本の違いはあまりのも多く、驚く事が多かった。特に、バスなどの公共交通機関は扉が閉まるのがとても速く、バスは運転がかなり荒く感じた。だが、非日常を味わえる面白いものとなった。他にも、建物は日本とは全く異なり、とても美しく素晴らしかった。特にゴシック様式のマーチャーシュ教会は昼間と夜の2回訪れたが、どちらもとても美しく、昼間と夜で全く違う顔を見せた。教会の中は、ステンドグラスがとても美しく、模様も綺麗であった。教会は丘の上にあったので町を一望でき、町の美しさも見る事ができた。その他にも国会議事堂中の綺麗な天使の絵や、王冠など見本では見る事ができないようなものをたくさん見る事ができ、毎日がとても楽しかった。

ハンガリーの食事は私にとってかなり塩味が強かった記憶がある。特に大学の近くのレストランは日本では体験できないくらい塩味が強いハンバーガーがあり、ハンガリー人にそんなに強いのかと聞かれた記憶がある。彼が言うには、塩味は強くない。日本食が健康的すぎるだけだよ。と、会話をし、話の種となった。ポジティブな話では、ハンガリー人たちが連れて行ってくれたランゴージュのお店だ。このお店では、3種類のランゴージュを注文し4人でシェアしたがそれでもお腹がいっぱいになるほど大きく、とてもおいしかった。サクサクの生地程よい酸味のサワークリームとチーズが乗っており、また食べたいくなるような味であった。他に

も、グヤーシュも食べた。牛肉のコクが口の中で広がり、とても良い香りがし、付け合わせのパンが進む味であった。具材は、玉ねぎとじゃがいもと牛肉ととてもシンプルであったが、忘れられない味であった。

さて、本題の研修についてお話すると、私たちの班は、「長期、短期滞在者に向けた住みよい街づくり」がテーマであり、成果報告会に向け、様々な施設に行かせてもらった。特にテレーズヴァーロシュの区役所では、具体的にどの様な配慮があるのか、また問題点などを聞くことができ、そこから、PPTを作ることができた。ハンガリー人、日本人のPPTを合体させる時は、日本語、英語の両方を用いて話し合いを進めたので、英語の能力を向上させる良い機会となり、現地学生との交流が増え、さらに仲良くなることができた。PPTを作成する上で困難であったことは、ハンガリー学生の手稿を英語から日本語にする時に、いかに日本人っぽい日本語で、かつ、話しやすいかを考えるのは、とても大変であった。成果報告会の当日は、みんなの顔に緊張が見られる中、発表はスムーズに進み、自分たちのやって来た事をみんなに見てもらうことができた。

このハンガリー研修では、様々な考え方を持つハンガリーの学生と交流を通じて、自分の新たな考え方、価値観を増やすことができた。また、現地の学生が日本のどんな所に興味、関心を持っているのかを聞くことができた。中には、私たちと関わっていく中で、自分も来年度、城西大学に留学したいと言ってくれる学生がいた。これはお世辞でもとても嬉しく、ハンガリー研修が私にとって良い体験になったと感じた瞬間であった。他にも、初回の授業では、ハンガリーの歴史、日本人とハンガリー人の違いについて知り、知識を身に着けることができた。10日間という長い様な短い様な時間はあっという間に過ぎていき、本当に一瞬の様に感じた。

この10日間のいつもとは違う生活は、またみんなに会いたいと思える素晴らしい時間であり、人生に大きな変化を与えるような素晴らしい時間であった。今回の研修で関わってくださった、国際教育センターの方々、ブタペスト商科大学の先生方、並びに学生みなさん、城西大学の先生方全ての人にここで感謝を申し上げます。

